



# SingleConnect の設定

この章は、次の項で構成されています。

- [SingleConnect \(1 ページ\)](#)
- [SingleConnect の重要なガイドライン \(2 ページ\)](#)
- [管理接続ポリシーと接続モード \(2 ページ\)](#)
- [接続モードの手動認識：GUI \(3 ページ\)](#)
- [接続モードの手動認識：CLI \(3 ページ\)](#)
- [SingleConnect を Cisco UCS Manager と統合するための要件 \(4 ページ\)](#)
- [混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 \(11 ページ\)](#)
- [Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server \(12 ページ\)](#)
- [C シリーズ サーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続 \(13 ページ\)](#)
- [SingleConnect のクラスタ セットアップの物理的な接続の図 \(14 ページ\)](#)
- [C シリーズ サーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続 \(16 ページ\)](#)
- [Physical Connectivity Illustrations for SingleConnect Non-Cluster Setup \(18 ページ\)](#)
- [統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理 \(19 ページ\)](#)
- [サーバを Cisco UCS ドメインモードからスタンドアロンモードへ戻す方法 \(20 ページ\)](#)
- [統合型サーバに関する特記事項 \(20 ページ\)](#)

## SingleConnect

Cisco UCS Manager は、NC-SI を使用した C シリーズ ラックマウント サーバと Cisco UCS Manager を統合するオプションをサポートしています。このオプションを使用すれば、管理トラフィックとデータトラフィックの両方に単一のケーブルを使用して、Cisco UCS Manager で C シリーズラックマウントサーバを管理できます。SingleConnect モードを使用する場合、FEX 上の1つのホスト側ポートで1台のラックマウントサーバを十分に管理できますが、共有 LOM モードでは2つのポートが使用されます。このため、統合されたサーバ管理のために、より多くのラックマウントサーバを Cisco UCS Manager と接続することができます。Cisco UCS Manager と統合するための正しいサーバファームウェアを使用していることを確認してください。使用していない場合は、サーバファームウェアをアップグレードしてから、統合してください。「[C シリーズ サーバのファームウェアのアップグレード](#)」を参照してください。

# SingleConnect の重要なガイドライン

SingleConnect には、次の注意事項と制限事項があります。

- Cisco UCS Manager の統合のために SingleConnect を有効にするには、Cisco UCS VIC 1225、Cisco UCS VIC 1227、Cisco UCS VIC 1385、および Cisco UCS VIC 1455、Cisco UCS VIC 1457 を SingleConnect に割り当てられたラック サーバの特定のスロットに装着する必要があります。VIC が特定のスロットに装着されていない場合、SingleConnect は機能しません。



- (注) Cisco VIC 1225T は、C220 M3、C240 M3、C240 M4、C220 M4、および C460 M4 サーバでのみサポートされます。Cisco UCS MLOM 1227T および Cisco UCS MLOM 1387 は、C240 M4 および C220 M4 サーバでのみサポートされます。

## 管理接続ポリシーと接続モード

Cisco UCS ドメインの C シリーズ ラックマウント サーバに対する物理接続を確立する場合は、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI で接続モードと管理ポリシーを指定する必要があります。管理ポリシーは、接続されているすべての C シリーズ ラックマウント サーバに対してグローバルです。接続モードにより、Cisco UCS Manager でのラック サーバの検出方法が決まります。

ラック サーバには、次のいずれかの接続ポリシーを指定できます。

- **自動確認**：これは C シリーズ ラックマウント サーバに推奨されるデフォルトの接続モードです。接続モードが自動確認の場合、Cisco UCS Manager は、物理接続が確立されるとすぐにラック サーバを検出し、指定された管理ポリシーに基づいてサーバの管理を開始します。
- **ユーザー確認**：接続モードがユーザー確認の場合、物理接続を確立後、手動で接続を確認し、Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI で接続モードを指定して、検出を開始する必要があります。Cisco UCS Manager は、ユーザーが接続モードを指定するまで、C シリーズ ラックマウント サーバの検出を開始しません。詳細な手順については、[接続モードの手動認識：GUI（3 ページ）](#) または [接続モードの手動認識：CLI（3 ページ）](#) を参照してください。



- (注) Cisco UCS Manager によってラック サーバが検出され、管理されている場合、1 台の C シリーズ ラックマウント サーバの既存の接続モードを変更するには、そのサーバを停止してから再起動して、新しい接続モードを指定する必要があります。Cisco UCS Manager は、その時初めて、新しい接続モードでサーバを検出できるようになります。

## 接続モードの手動認識 : GUI

接続モードがユーザ確認の場合、物理接続を確立後、手動で接続を確認し、Cisco UCS Manager GUI で接続モードを指定して、検出を開始する必要があります。Cisco UCS Manager は、ユーザーが接続モードを指定するまで、Cシリーズラックマウントサーバの検出を開始しません。

### 手順の概要

1. [Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] の順に展開します。
2. [Inventory] > [CIMC] タブを選択します。
3. [Configure Management Connection] をクリックし、[Enable] を選択します。
4. [State] の [Enabled] チェック ボックスを選択します。
5. [OK] をクリックします。

### 手順の詳細

---

ステップ 1 [Equipment] > [Rack Mounts] > [Servers] の順に展開します。

(注) Cisco UCS C125 M5 サーバでは、[Equipment] > [Rack Mounts] > [Enclosures] > [Rack Enclosure *rack\_enclosure\_number*] > [Servers] の順に展開します。

ステップ 2 [Inventory] > [CIMC] タブを選択します。

ステップ 3 [Configure Management Connection] をクリックし、[Enable] を選択します。

ステップ 4 [State] の [Enabled] チェック ボックスを選択します。

ステップ 5 [OK] をクリックします。

---

## 接続モードの手動認識 : CLI

接続モードがユーザ確認の場合、物理接続を確立後、手動で接続を確認し、Cisco UCS Manager CLI で接続モードを指定して、検出を開始する必要があります。Cisco UCS Manager は、ユーザーが接続モードを指定するまで、Cシリーズラックマウントサーバの検出を開始しません。

### 手順の概要

1. UCS-A # **Scope server\_ID**
2. 5 UCS-A/server # **Scope cimc**
3. UCS-A/server/cimc # **scope mgmt-conn sideband**
4. 9 UCS-A/server/cimc/mgmt-conn #**set mgmt-conn-state enabled**
5. UCS-A/server/cimc/mgmt-conn\* # **commit-buffer**

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>Scope server_ID</b>	指定したサーバを開始します。
ステップ 2	5 UCS-A/server # <b>Scope cimc</b>	CIMC モードを開始します。
ステップ 3	UCS-A/server/cimc # <b>scope mgmt-conn sideband</b>	管理接続モードを開始します。
ステップ 4	9 UCS-A/server/cimc/mgmt-conn # <b>set mgmt-conn-state enabled</b>	接続モードを確認します。
ステップ 5	UCS-A/server/cimc/mgmt-conn* # <b>commit-buffer</b>	システムで変更を保存します。

## 例

```
UCS-A# scope server 1
UCS-A /server # scope cimc
UCS-A /server/cimc # scope mgm
UCS-A /server/cimc # scope mgmt-conn
UCS-A /server/cimc # scope mgmt-conn sideband
UCS-A /server/cimc/mgmt-conn # set mgmt-conn-state enabled
UCS-A /server/cimc/mgmt-conn* # commit-buffer
UCS-A /server/cimc/mgmt-conn
```

## SingleConnect を Cisco UCS Manager と統合するための要件

### クラスタ セットアップの要件

クラスタ セットアップで、C シリーズ ラックマウント サーバ と Cisco UCS Manager のシングルワイヤの統合を作成するには、次の製品が必要です。

- Cisco UCS Manager を実行する Cisco UCS システム。
- 次の表に記載されている任意の C シリーズ ラックマウント サーバ と対応する CIMC と UCS Manager のリリース バージョン。

表 1: SingleConnect の統合に最低限必要な CIMC、BIOS、UCS Manager のバージョン

サーバ	CIMC	BIOS	UCS Manager	UCS Manager (CIMC)	UCS Manager (BIOS)
Cisco UCS C22 M3 サーバ	1.4(6)	1.4.7a	2.1(2a)	1.5(11)	1.5.1c

サーバ	CIMC	BIOS	UCS Manager	UCS Manager (CIMC)	UCS Manager (BIOS)
Cisco UCS C24 M3 サーバ	1.4(6)	1.4.7a	2.1(2a)	1.5(11)	1.5.1c
Cisco UCS C220 M3 サーバ	1.4(6)	1.4.7a	2.1(2a)	1.5(11)	1.5.1g
Cisco UCS C240 M3 サーバ	1.4(6)	1.4.7a	2.1(2a)	1.5(11)	1.5.1c
Cisco UCS C420 M3 サーバ	1.4(7)	1.4.8	2.1(2a)	1.5(11)	1.5.1b
Cisco UCS C220 M4 サーバ (2.2.3 以降 が必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)	2.0(3d)	2.0.3
Cisco UCS C240 M4 サーバ (2.2.3 以降 が必要)	2.0(3d)	2.0.3	2.2(3a)	2.0(3d)	2.0.3
Cisco UCS C460 M4 サーバ	1.5(7a)	1.5.7	2.2(2a)	1.5(7a)	1.5.7
Cisco UCS C220 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1i.0	3.2(1d)	3.1.1d	3.1.1i.0
Cisco UCS C240 M5 サーバ	3.1.1d	3.1.1h.0	3.2(1d)	3.1.1d	3.1.1h.0
Cisco UCS C480 M5 サーバ	3.1(2b)	3.1.2a.0	3.2(2b)	3.1(2b)	3.1.2a.0
Cisco UCS C125 M5 サーバ	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)	4.0(1a)

サーバ	CIMC	BIOS	UCS Manager	UCS Manager (CIMC)	UCS Manager (BIOS)
Cisco UCS C480 M5 ML サーバ	4.0(2a)	4.0(2a)	4.0(2a)	4.0(2a)	4.0(2a)
Cisco UCS C240SD M5 サーバ	4.1(2)	4.1(2)	4.1(2)	4.1(2)	4.1(2)



(注) サーバの場合は、MLOM または VIC を使用して、SingleConnect または直接接続モードで Cisco UCS Manager と統合できます。

Cisco UCS C125 M5 サーバ MLOM をサポートしていません。Cisco UCS C125 M5 サーバはスロット 2 のみで、VIC カードを配置する必要があります。

接続アダプタは、次のように選択されます。

- **MLOM のみ** : サーバに MLOM のみ搭載されている場合、接続アダプタはデフォルトで MLOM です。
- **MLOM および VIC アダプタ** : MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
- **MLOM なし** :
  - Cisco UCS C220 M4 に VIC が含まれている場合は、SingleConnect または直接接続の統合では Riser1 (スロット 1) に VIC を装着する必要があります。
  - Cisco UCS C240 M4 に VIC が含まれている場合は、SingleConnect または直接接続の統合ではスロット 1、2、4、または 5 のいずれかに VIC を装着できます。
- **MLOM および VIC なし** : 単一接続または直接接続はサポートされません。



重要

サーバには、Cisco UCS VIC 1225、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1385、Cisco VIC 1387 MLOM、Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1457 MLOM を装着する必要があります。Cisco UCS VIC 1225 または Cisco VIC 1227 のファームウェアおよびブートローダのバージョンは次の通りです。

Cisco UCS 1225 および 1227 カードの場合：

- 推奨：2.1(0.457a)
- 最小限の要件：2.1(0.367e)

Cisco UCS VIC 1385 および 1387 MLOM の場合：

- 推奨：4.1.1a
- 最小限：4.1.1a

Cisco UCS VIC 1455 および 1457 MLOM：

- 推奨 5.0(1a) 以降

Cisco UCS 1225、Cisco UCS 1227、Cisco UCS 1385、Cisco UCS 1387、Cisco UCS 1455、Cisco UCS 1457 VIC は単一接続をサポートします。SingleConnect に Cisco UCS VIC を使用している場合、カードが次の表で説明されているいずれかのスロットに挿入されていることを確認してください。

表 2: SingleConnect の統合のための Cisco UCS VIC スロット

サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C22 M3 サーバ	1
Cisco UCS C24 M3 サーバ	1
Cisco UCS C220 M3 サーバ	1
Cisco UCS C240 M3 サーバ	2
Cisco UCS C420 M3 サーバ	4
Cisco UCS C220 M4 サーバ	MLOM、1
Cisco UCS C240 M4 サーバ	MLOM、1、2、4、5  (注) スロット 2 および 5 に GPU が装着されている場合、スロット 1 および 4 に VIC を配置します。



サーバ	PCIe スロット
Cisco UCS C460 M4 サーバ	4、9、5、10
Cisco UCS C220 M5 サーバ	MLOM、1
Cisco UCS C240 M5 サーバ	MLOM、1、2、4、5  (注) スロット2および5に GPU が装着されている場合、スロット1および4に VIC を配置します。  スロットの組み合わせについては、 <a href="#">混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理 (11 ページ)</a> を参照してください。
Cisco UCS C240SD M5サーバ	MLOM、1、2
Cisco UCS C125 M5 サーバ	2
Cisco UCS C480 M5 サーバ	1、2
Cisco UCS C480 M5 ML サーバ	11、12



(注) Cisco UCS 1225、1225T、1385、1455 は PCIe ベースのアダプタであり、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1227T、Cisco VIC 1387、Cisco VIC 1457 は MLOM ベースです。

- Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 シリーズまたは Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト。ファブリック エクステンダ (FEX) を接続するスイッチポートは、サーバポートとしてマークする必要があります。
- 次の FEX タイプのうち 2 つを使用できます。
  - Cisco Nexus 2232PP
  - Cisco Nexus 2232TM-E
  - Cisco Nexus 2348UPQ



- (注)
- Cisco Nexus 2232PP または Cisco Nexus 2232TM-E FEX は 6200 シリーズ FI に、Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232 TM-E、または Cisco Nexus 2348UPQ EFX は 6300 シリーズ FI に接続できます。
  - FEX の 2 つの電源装置それぞれに電源コードを接続する必要があります。電源が接続されていて、ハードウェアに問題がある場合は、電源投入時自己診断テスト (POST) の途中で「重大な」障害が報告されることがあります。たとえば、次のエラーが表示されることがあります。「Power supply 1 in fex 6 power: error」。このエラーは、不足している電源コードを FEX 電源装置に接続するとクリアできます。

- 10 Gb Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル X 4。



- (注)
- 各 FEX と対応する FI の接続用ケーブル X 1 (最小限)。
  - サーバと FEX の間のデータトラフィックパスのリンク用ケーブル X 1 (最小限)。
  - FEX から FI へのアップリンク用ケーブル X 4 (最小限)。10 Gb ツインアクシシャルケーブルか、次の SFP タイプのケーブルのいずれかを使用できます。
    - SFP - 10GE-SR
    - FET - 10GE



**重要** アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。アップリンクで SFP のタイプを混在させると、「Discovery Failed」のエラーが表示されます。

### 非クラスタ セットアップの要件

Cisco UCS Manager および C シリーズラック マウント サーバとともに、非クラスタ セットアップでサーバを統合する場合は、次のコンポーネントが必要です。

- Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 シリーズまたは Cisco UCS 6400 シリーズファブリック インターコネクト。ファブリック エクステンダ (FEX) を接続するスイッチポートは、サーバポートとしてマークする必要があります。

- 次のいずれかの FEX タイプを使用できます。
  - Cisco Nexus 2232PP
  - Cisco Nexus 2232TM-E
  - Cisco Nexus 2348UPQ
- 10 Gb SFP ケーブル X 3。



- (注)
- 6200 シリーズ FI を使用している場合、SFP ケーブルの最小要件は 2 です。
  - サーバと FEX の間のデータ トラフィック パスを接続するために 1 本以上のケーブル。
  - FEX から FI へのアップリンク用ケーブル X 2 (最小限)。FEX から FI へのアップリンクに使用する 2 本のケーブルごとに、10 Gb ツインアキシャル ケーブルか、次の Small Form-Factor Pluggable (SFP) タイプのケーブルのいずれかを使用できます。
    - SFP - 10GE-SR
    - FET - 10GE

- 接続されている Cisco Nexus 2348UPQ の 40G SFP ケーブル

## 混合 VIC セットアップ用 Cisco UCS Manager 管理

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS M5 サーバおよび混合 VIC カードによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 3: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
MLOM のみ。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
MLOM アダプタと VIC アダプタの両方。	MLOM がデフォルトの接続アダプタです。
VIC アダプタのみ。MLOM はなし。	VIC アダプタは、単一接続または直接接続統合用にスロット 1 に取り付けることができます。

# Cisco UCS Manager Management for Mixed VIC Set-up in C240 M5 Server

Cisco UCS Manager は、Cisco UCS C240 M5 サーバ および 混合 VIC カードのによるセットアップを完全にはサポートしていません。

表 4: Cisco UCS Manager 管理

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC 1455 スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 2 のみを検出します。
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 2 : Cisco VIC 1455	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
スロット 1 およびスロット 2 の両方が使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 1 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 2 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。

スロット	Cisco UCS Manager 管理
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC 1455 スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はスロット 5 のみを検出します。
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC 1455	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
スロット 4 およびスロット 5 の両方が使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたは Cisco VIC 1455 以外のサードパーティ製のアダプタ スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager は両方のスロットを検出します。
1 つのスロットのみ使用されています。 スロット 4 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ または スロット 5 : Cisco VIC カードまたはサードパーティ製のアダプタ	Cisco UCS Manager はどちらのスロットが使用されているか検出します。

## C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続

始める前に



**重要**

Cisco UCS Manager と統合するには、サーバの CIMC が工場出荷時の設定に設定されていることを確認してください。

サーバに接続する前に、Cisco UCS VIC 1225、Cisco VIC 1227、Cisco VIC 1385、Cisco VIC 1387 MLOM、Cisco VIC 1455 または Cisco VIC 1457 MLOM が Cisco UCS Manager への統合のため

めに正しいスロットに装着されていることを確認します。カードが正しいスロットに装着されていない場合、サーバのシングルワイヤ管理を有効にできません。

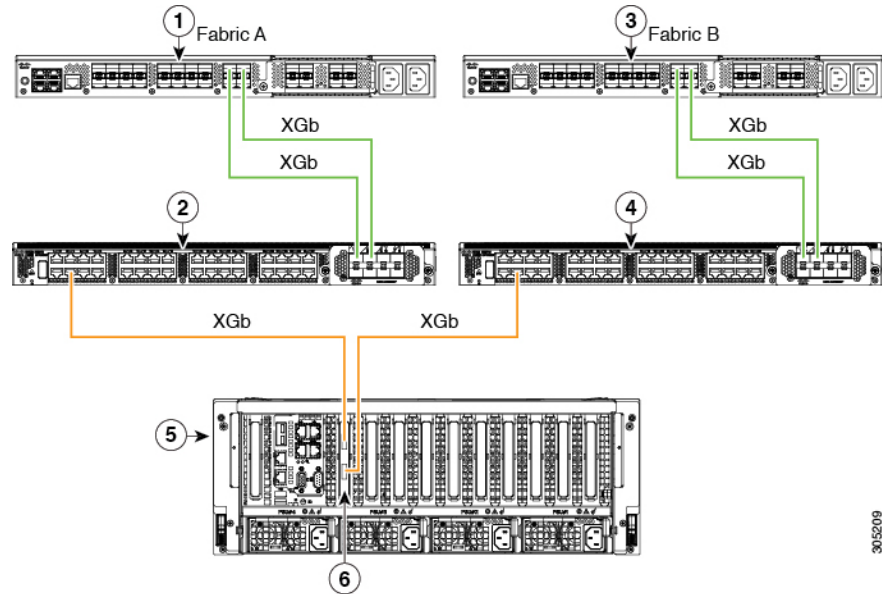
- 
- ステップ 1** ラックにサーバを設置します。使用しているサーバの『*Install and Upgrade Guide*』を参照してください。インストールガイドは、次の URL から入手できます。 [Install and Upgrade Guides](#)
- ステップ 2** データ トラフィックと管理トラフィックの両方が伝送されるパスを FEX に接続します。
- サーバのアダプタ カードとファブリック A に接続している FEX のポートの間をサポートされているケーブルで接続します。FEX の任意のポートを使用できます。
  - サーバのアダプタ カードとファブリック B に接続している FEX のポートの間をサポートされている SFP ケーブルで接続します。FEX の任意のポートを使用できます。
- ステップ 3** FEX から FI へのパスを接続します。
- FEX A と FI A の 2 つのポートの間をサポートされている 2 本以上の SFP ケーブルで接続します。FI A の任意のポートを使用できますが、ポートはサーバポートとして設定される必要があります。
  - FEX B と FI B の 2 つのポートの間をサポートされている 2 本以上の SFP ケーブルで接続します。FI B の任意のポートを使用できますが、ポートはサーバポートとして設定される必要があります。
    - C シリーズの統合のネットワーク トポロジとケーブル接続の詳細については、「[ネットワーク トポロジとサポート対象ケーブル](#)」の項を参照してください。
    - FEX では、アップリンクに 8 ポートの右側のブロックだけを使用できます。アップリンクの最大数は 8 です。
    - アップリンクで SFP タイプを混在使用しないでください。混在させると、検出が失敗することがあります。
- ステップ 4** 電源コードをサーバの各電源装置に接続し、次に接地された AC 電源コンセントにコードを接続します。
- ステップ 5** サーバをリブートします。
- 

## SingleConnect のクラスタ セットアップの物理的な接続の



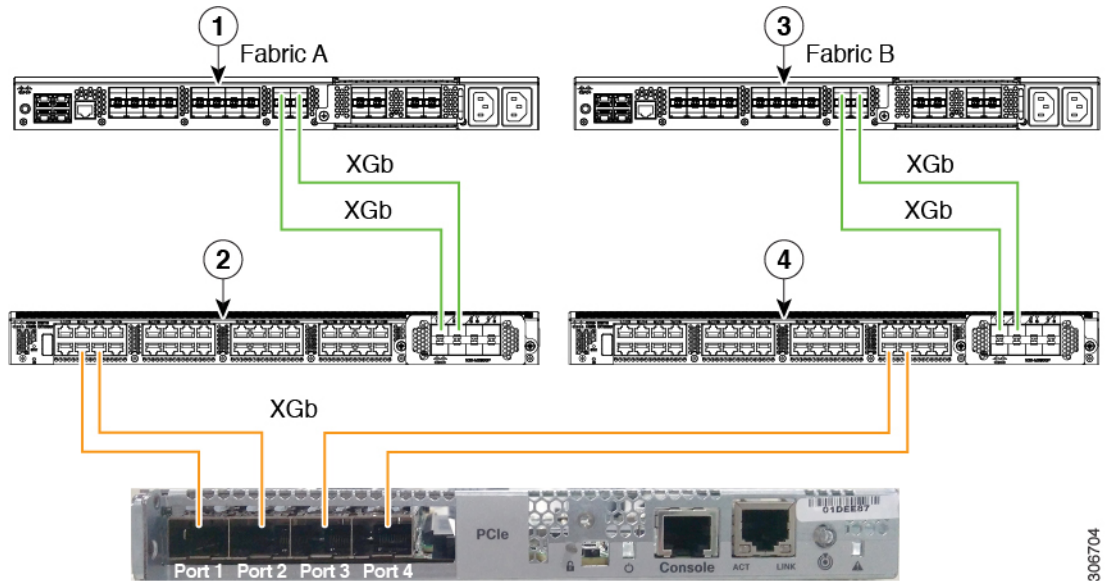
次の図は、C シリーズラックマウントサーバと Cisco UCS ドメイン、Cisco UCS Manager との SingleConnect 物理接続の例を示しています。次の図は、C シリーズラックマウントサーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータ トラフィックの両方が伝送されます。

図 1: SingleConnect の配線構成



3062019

図 2: Cisco VIC 1455/VIC 1457 との SingleConnect の配線構成



306704



(注) XGb は 40 GB 接続または 10 GB 接続または 25 GB 接続を表します。10 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

25 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 25 G SFP 28

1	Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 または Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト (ファブリック A)	4	Cisco Nexus 2232PP または Cisco Nexus 2232TM-E (Cisco UCS VIC 1455 では適用されない)、または Cisco Nexus 2348UPQ FEX (ファブリック B)
2	Cisco Nexus 2232PP または Cisco Nexus 2232TM-E (Cisco UCS VIC 1455 では適用されない)、または Cisco Nexus 2348UPQ FEX (ファブリック A)	5	C シリーズ ラックマウントサーバ
3	Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 または Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクト (ファブリック B)	6	サポート対象 PCIe または MLOM スロット内の Cisco UCS VIC。

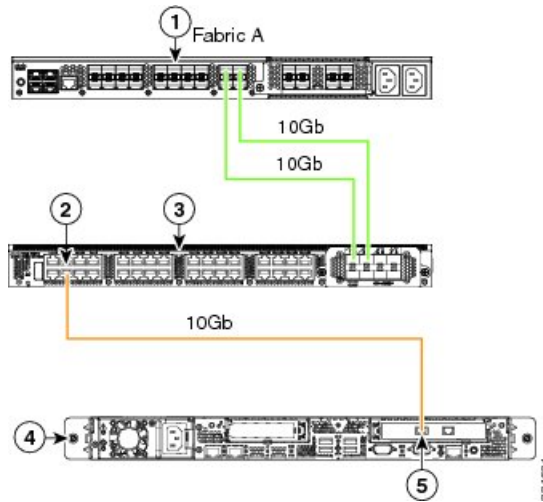
## C シリーズサーバと UCS ドメインとの非クラスタ セットアップでの接続

C シリーズサーバと UCS ドメインを接続する場合は、[C シリーズサーバと Cisco UCS ドメインとのクラスタ セットアップでの接続 \(13 ページ\)](#) で説明されているのと同じ手順を実行します。ただし、2つの FI と 2つの FEX を接続する代わりに、1つの FI と 1つの FEX のみ接続する必要があります。

図 3: シングルワイヤの非クラスタ セットアップの例

次の図は、シングルワイヤ管理の非クラスタ セットアップの例です。





(注) XGb は 40 GB イーサネット接続または 10 GB イーサネット接続または 25 GB イーサ接続を表します。10 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

25 ギガビット イーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 25 G SFP 28

1	Cisco UCS 6200 シリーズまたは 6300 または Cisco UCS 6400 シリーズ ファブリック インターコネクタ (ファブリック A)	4	C シリーズ ラックマウント サーバ
2	SingleConnect 接続	5	サポート対象 PCIe スロット内の Cisco UCS VIC アダプタ
3	Cisco Nexus 2232PP、Cisco Nexus 2232TM-E、または Cisco Nexus 2348UPQFEX (ファブリック A)		

## Physical Connectivity Illustrations for SingleConnect Non-Cluster Setup

次の図は、C シリーズラックマウントサーバと Cisco UCS ドメイン、Cisco UCS Manager との SingleConnect 物理接続の例を示しています。次の図は、C シリーズラックマウントサーバと Cisco UCS Manager を統合する場合の配線構成を示しています。ゴールドで示されたパスでは、管理トラフィックとデータトラフィックの両方が伝送されます。

図 4 : Cisco VIC 1455/VIC 1457 との SingleConnect の配線構成 - 単一ケーブル

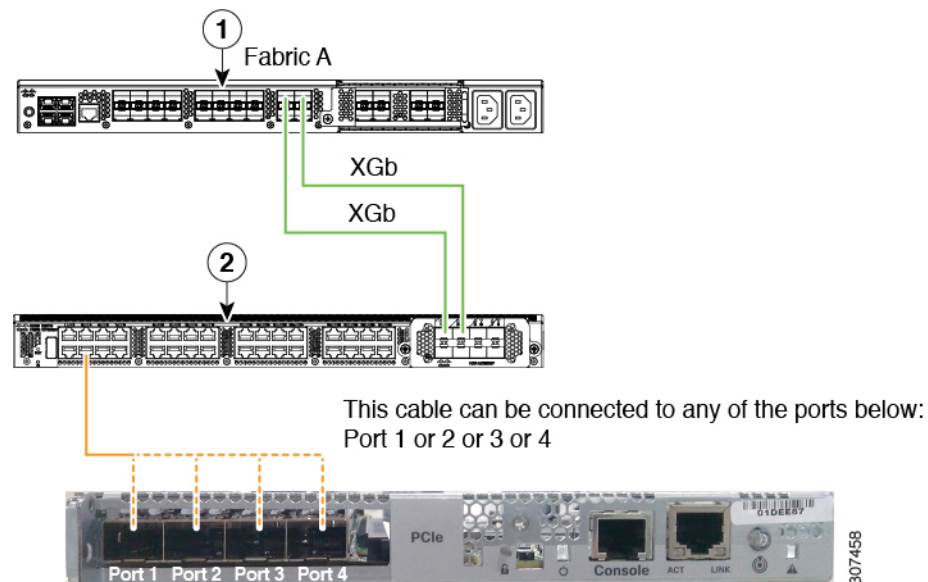
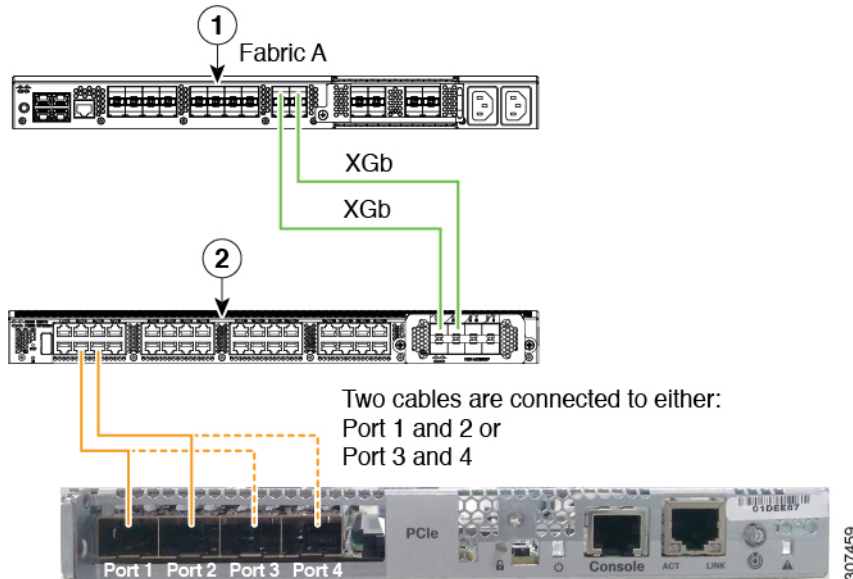


図 5: Cisco VIC 1455/VIC 1457 との SingleConnect の配線構成 - デュアル ケーブル



(注) XGb は 40 GB 接続または 10 GB 接続または 25 GB 接続を表します。10 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 4 X 10 ブレークアウト Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル
- 4 X 10 アクティブ光ケーブル (OAC)
- Qualified Security Assessor (QSA) モジュールを使用する 10G Small Form-Factor Pluggable (SFP) ケーブル

25 ギガビットイーサネットの場合、次のケーブルが使用されます。

- 25 G SFP 28

## 統合後の Cisco UCS Manager でのラックマウント型サーバの管理

Cisco UCS ドメイン と統合されているすべてのラックマウントサーバを、Cisco UCS Manager によって管理し、モニタリングできます。統合後は、ラックマウントサーバの管理タスクはすべて Cisco UCS Manager GUI または Cisco UCS Manager CLI のサービス プロファイルからのみ実行します。Cisco UCS Manager によるサーバの管理を開始すると、C シリーズラックマウントサーバ Cisco IMC は使用できなくなります。

Cisco UCS Manager は、検出された各ラックマウント サーバに関する情報、エラー、および障害を提供します。

Cisco UCS Manager からの C シリーズ ラックマウント サーバ C-Series Rack-Mount Servers の管理の詳細については、使用しているリリースの『[Cisco UCS Manager Configuration Guide](#)』の「Managing Rack-Mount Servers」の章を参照してください。

## サーバを Cisco UCS ドメイン モードからスタンドアロンモードへ戻す方法

Cisco UCS Manager ソフトウェアを使用して Cisco UCS C シリーズ サーバを管理すると、そのサーバに UCS Manager サービス プロファイルが関連付けられます。C シリーズ サーバをスタンドアロンモードに戻す（すなわち Cisco IMC ソフトウェアで管理できるようにする）場合は、UCS Manager で次の処理を行う必要があります。

- 
- ステップ 1 サーバへの UCS Manager サービス プロファイルの関連付けを解除する。
  - ステップ 2 アダプタからの接続を削除します。
  - ステップ 3 手動でサーバの電源オンします。
  - ステップ 4 前面パネル KVM 接続を接続します。
  - ステップ 5 ブート中にアップ **F8** キーを押します。
  - ステップ 6 CIMC を工場出荷時の初期状態またはスタンドアロンモードにリセットします。

**注意** サーバへのサービス プロファイルの関連付けを解除しなかった場合、UCS Manager によって割り当てられた MAC および WWN 番号が引き続きサーバで維持されることがあります。これによって番号付けが重複し、UCS Manager で管理されている他のサーバとの間で競合が生じる可能性があります。さらに、サービスプロファイルの関連付けを解除せずにサーバをスタンドアロンモードに戻した場合、そのスタンドアロンサーバでは LSI RAID コントローラがブート可能デバイスとして表示されないため、ローカルでの再起動ができなくなります。

---

## 統合型サーバに関する特記事項

Cisco UCS システムの C シリーズ サーバに接続する場合は、次の点を確認してください:

- [FEX の考慮事項 \(21 ページ\)](#)

## FEX の考慮事項

### FEX の稼働中止/再稼働後の接続先サーバの再確認

Cisco UCS FEX の稼働中止または再稼働後は、必ずその FEX に接続されているすべてのサーバを UCS Manager で再確認する必要があります。

## Cisco VIC 1455 および 1457 の接続性

クラスタ設定では、ポート 1 および 2 を 1 つの FEX に接続します。別の FEX にポート 3 および 4 を接続します。非クラスタを設定するには、FEX に 1 および 2 ポートまたはポート 3 および 4 のいずれかを接続します。

